

「高崎プライド」 ～心と形を整える～

令和3年3月26日（金） NO27 文責 木下 文秋

支えに感謝

本年度最後の学校だよりになります。この2年間コロナ禍の影響もあり、満足な学校経営ができず大変歯がゆい思いや残念な気持ちを抱きながらの日々でしたが、何とかここまでたどり着いた感じです。学校行事、部活動その他多くの事に対し、保護者の皆様にたくさんのご厚情を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。卒業式は無事感動的に終わることができました。2年生を式に参加させて正解でした。彼らは卒業生の式に臨む姿を目に焼き付けてくれたと思います。また、1年生が入場前に披露してくれた歌や横断幕を持つ姿も大変感動的でした。体育館に入る前から涙する卒業生もいました。1、2年生は今回の卒業式にあたり、それぞれができることを精一杯尽くしてくれました。これらの経験を通して、自分たちが今すべきことを考え、また思いやりや温かい心を育ててくれたと思います。そして、すべてが本校の伝統として受け継がれていくと確信しています。コロナ禍の生活はまだ続きそうですが、明けない夜はありません。もう少し辛抱すればきっと安定した日常が戻ってくるはずです。生徒の皆さんは、次年度に向けてしっかり気持ちを整えてください。そして、何か新しいことに挑戦するには正月（1月）と新年度（4月）はもってこいです。どうか、新しい年度に志を立てて、自分を変えるべく挑戦してみてください。保護者の皆様、本年度も多くの支えをいただきました。素直で誠実な生徒ばかりですが、学校にはアクシデントやトラブルはつきものです。そのたびに一生懸命対応をしまいましたが、力足らずの部分もあったと反省しています。次年度もしっかり軸足を固めて努力して参ります。一年間ありがとうございました。支えに感謝！